

創造・参加・実践

JR西労組ひろしま

西日本旅客鉄道労働組合
 広島地方本部
 発行責任者 守田 丸平
 編集責任者 小尻 紘士
 広島市東区上大須賀町16-1
 新幹線西高架下3F
 J R (081) 2473
 NTT (261) 6614

No.396

2021年8月10日

第三十三回定期中央本部大会開催

全組合員の総団結でこの難局を乗り越え、安全を基礎に未来を切り拓こう！

J R西労組中央本部は、七月十五日（木）と十六日（金）に第三十三回定期中央本部大会を奈良県コンベンションセンターで開催しました。新型コロナウイルス感染症による感染拡大を防止するため、例年より規模を縮小して「傍聴者なし」「一泊二日」の開催となりました。大会では、執行部から一年間の経過報告や、運動方針、予算案が提起されると共に、全体質疑での討論では石松書記長など、多くの代議員から発言があり活発な議論が繰り広げられました。なお本大会では役員改選が行われ、広島地本出身の松原副執行委員長が退任し、新たに上村委員長をはじめとする十六名の新体制が発足しました。最後に、J R西労組運動をこれからも力強く進めていくことの決意を固め、上村中央委員長の団結ガンバローで閉会しました。

上村中央本部執行委員長あいさつ（要旨）

①安全確立と事故の教訓
 ②ポストコロナ、社会変容への対応

③総合労働協約改訂、冬のボーナス再交渉、二〇二二春闘について

④今こそ団結し、助け合

福知山線脱線事故から十六年が経過し、事故後入社が半数を越えました。今等々を最優先に求めつつ、回策定した安全提言の改訂版、「安全お守り手帳」は振り返りを行うためのツールです。立場や会社の枠を越え、皆で確認しあえるような職場をつくり、さらなる安全向上に繋がって頂くことを要請します。

総合労働協約改定交渉では、組合員と家族の安全・健康を守る制度改正等を最優先に求めつつ、様々な事情に配慮した柔軟な働き方について、議論を進めていきます。冬のボーナスについては、厳しい生活を強いられる組合員の生活実態や切実な声を伝え、未来に繋がる回答を引き出すべく全力を尽くします。二〇二二春闘においては、なんとしても黒字転換を果たし、成果配分を求めていきたいと思えます。

政府主導の人流抑制策により、移動の自粛・制限が定着し、働き方を含めた社会変容が急激な速度で進んでいます。ポストコロナの重要課題については、中計の見直しで「地域のニーズにより適した、持続可能な新しい交通体系を積極的に模索し早期に実現していく」ことを示しました。責任ある議論、情報開示、地域との対話等を求めていきます。

経営危機、賃金低下について、会社としての現場での説明が不十分であったため、私たちJR西労組が代わりに説明したいことも過言ではありません。職場で様々な不安を抱えている組合員やグループ外出向者に対しては、組合員へのフォローを会議員懇談会所属の議員の力が無ければ、雇い調整助成金の延長要請等が実現しません。秋の選挙において、交通運輸労働者の声を代弁する仲間を一人でも多く国政に送り、皆さんのご協力をお願いします。JR連合国す。



広島地本を代表し石松書記長が発言！

広島地本を代表して石松書記長が五点について発言を行いました。

①安全お守り手帳の活用
 中央本部に作成して頂いた「安全お守り手帳」を活用することが事故の芽を摘み、大切な命を守ることに繋がるため浸透を呼びかけていきます。

②新型コロナウイルスへの対応について
 会社はあらゆる施策を講じておりますが、安全が疎かになってはいけません。必要なチェック機能を果たして参りますので、中央本部の協力をお願いいたします。

③中国エリア統括部新設に向けて対応
 中国エリアでは大きな組織改編が計画されていますが、全体像が明らかになっていません。早期に全容を解明し、本社内での議論を開始することを要請します。

④年末賞与の交渉
 組合員とその家族のため、二、三カ月の満額回答を引き出すべく、広島地本としても後押しをします。中央闘争委員会のご奮闘を求めます。

⑤政治について
 我がが考える政策を実現するには、代弁する議員を増やす必要があります。衆議院議員選挙はそのチャンスとなります。広島地本は推薦する候補者の全員当選へ向け取り組む決意を申し上げます。

グループ外出向者に対して激励！

広島地本はグループ外出向を行う組合員に対して激励を行いました。今後もグループ外出向を行う組合員へ激励とフォローを行っていきます。



第32回JR西労組広島地本定期大会
 8.28(土)開会10時(受付9時30分~)
 ホテルグランヴィア広島